

社会福祉法人 桜ヶ丘社会事業協会

桜ヶ丘記念病院

日本医療機能評価機構認定病院

障害のある人を企業で活かす雇用とは？

就労支援の立場から

桜ヶ丘記念病院 精神保健福祉士

中原さとみ

自己紹介

- 精神保健福祉士、相談支援専門員、キャリアコンサルタント
- 米国IPS センター認定IPSスーパーバイザー
- 桜ヶ丘記念病院にて2004年就労支援プログラムを立ち上げ
2005年より現在までIPS援助付き雇用を実践。
- 日本精神保健福祉士協会 就労・雇用支援の在り方検討委員会委員
- 東京精神科病院協会 精神障害者雇用促進委員会委員
- 全国重度障害者雇用事業所協会 首都圏支部副支部長
- 多摩市権利擁護専門委員会委員
- リカバリーキャラバン隊事務局長
- 共著者に「働くこととリカバリーIPSハンドブック」(クリエイツかもがわ)、「リカバリーの学校の教科書」(EDITEX)、「Q&Aで理解する就労支援IPS」(EDITEX)。
- 趣味フラダンス



桜ヶ丘記念病院の概要

診察項目

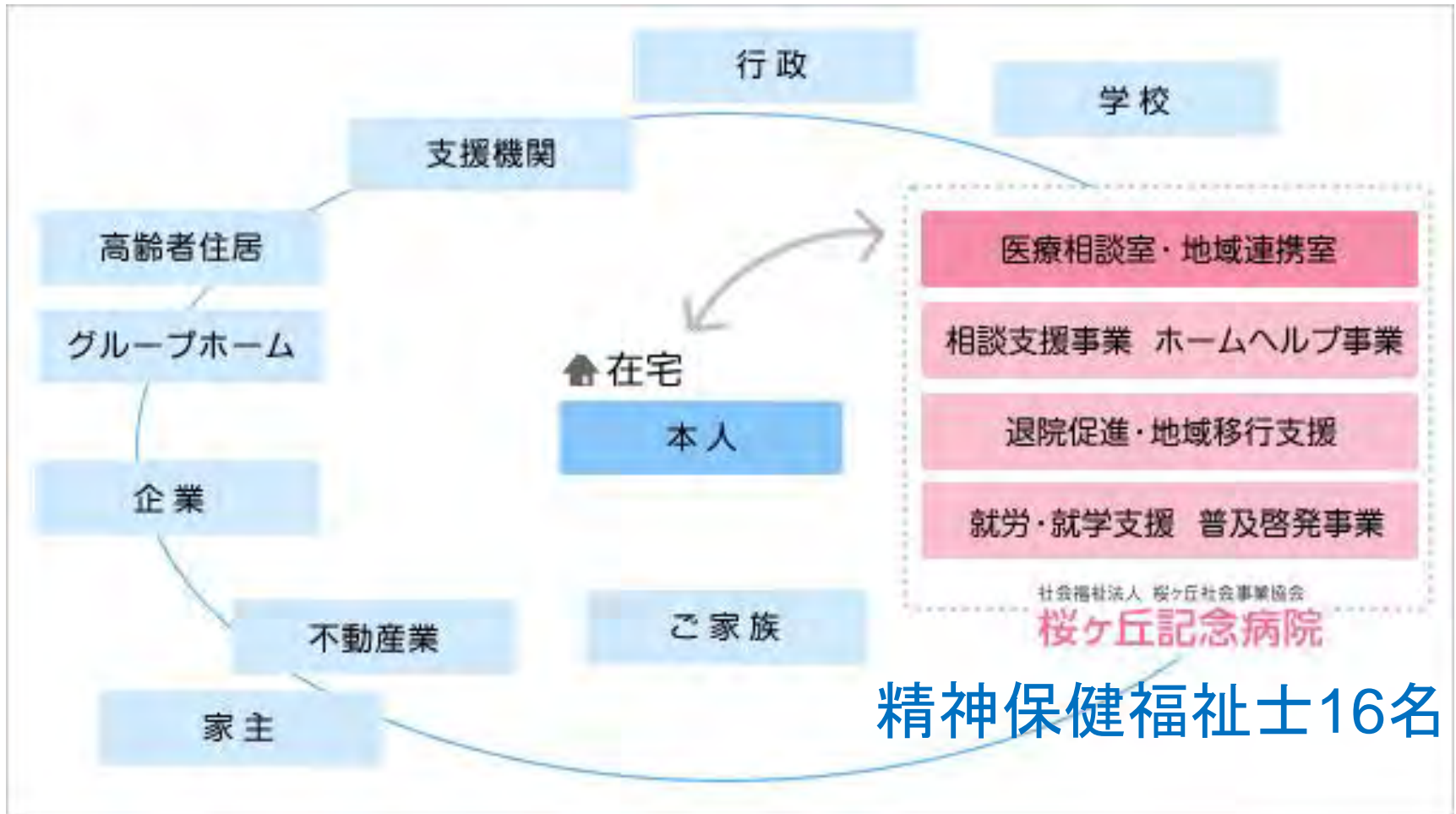
- ▶ 精神科・神経科・内科・歯科

診察規模

- ▶ 病床数467床 病棟数 8病棟
- ▶ 1日平均外来患者数 149.5名（平成29年度）



桜ヶ丘記念病院（東京都・多摩市）



その人らしい満足感のある人生が送れるよう応援しています

当院の就労支援サービス

独自サービス(相談室で担当)

- 患者さんへの病院独自のサービスとして提供しています

当院の患者さんが対象

- 就労支援サービスを利用するには、当院に転院していただいています

IPSモデルによる支援

- 患者さんの意志を尊重し、ストレングス(強み・長所)活かすIPSモデルを採用しています

治療と職業生活の両立支援

IPSモデルとは

- ▶ 精神障害者は対人関係が苦手です。ストレスに弱く、不器用だから色々訓練してからでなければ働けないと考えられ、訓練重視の就労支援が多く提供されてきました。
- ▶ しかし、職探しをいち早く行い、実際に働く職場に合わせて支援した方がずっとうまくいくことが分かりました。
- ▶ さらに本人の希望や気持ち、そして長所を尊重し、医療と一体となると、統計的により高い就職率や定着率が確認できました。
- ▶ この方法をIndividual Placement and Supportの頭文字を取り、IPS(アイ・ピー・エス)と呼びます。

IPSとエビデンス

- 1990年代前半にアメリカで開発された就労支援モデル
- 多くの無作為化比較対照試験により、その有効性が報告されてきた
- その結果、現在では、エビデンスに基づいた実践 (Evidence-Based Practice : EBP) の一つとされ、アメリカ、ヨーロッパ、アジア、我が国においても重症精神障害者に対する有効性が報告された
- 早期介入時(初回エピソード)でのIPS提供により、予後の大きな改善が報告されている



INDIVIDUAL PLACEMENT AND SUPPORT
IPS Annual Meeting 2017

<http://www.ipsworks.org>

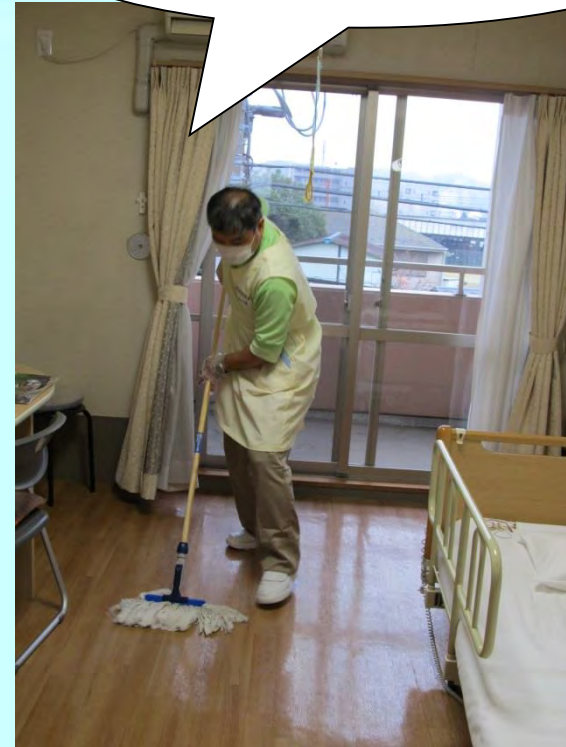
一般就労や社会参加の効能

- 一般就労は、自分のリカバリーを追及できる方法の一つ
- 自立度が高まるにしたがって、自尊心が高くなり、症状に対する理解が深まり、症状に対応し、生活全般に満足感を覚えるようになる
- 地域社会とつながることで精神保健機関が提供するサービスへの依存が少なくなる
- 一般の方と一緒に職場で共に働くことでスティグマを軽減できるとされている

働いてよかったこと

- ▶ 病気が回復した
 - ▶ 人と交わっているから。
 - ▶ 人と仕事のことで相談する
 - ▶ 生活のリズム
- ▶ 薬が減らせた
- ▶ たくさんの人に出会えた
- ▶ 信頼されるようになった
- ▶ 給料をもらえる
- ▶ やりがいがある

ユカはユカいに掃除
しましょう(笑)。



- ▶ サバイバーという精神障害があっても立派に働けることを社会に示したいという新しい目標もできた

IPSの原則

☆保護された環境よりコミュニティのなかで働きたい

☆一般就労はコミュニティへの統合を促進

① 一般就労の原則

IPS 提供機関は、働きたいと考える精神障害者が一般就労することを、到達可能な目標だと考える。

② 患者さんの選択に基づいた参加資格

IPS 利用について、患者の準備性、診断名、症状、薬物依存歴、入院歴、障害程度、犯罪歴等で除外されることはない。

③ 就労支援と精神科臨床サービスの統合

IPS は精神科臨床チームと密接に統合され、提供される

④ 患者さんの好みへの着目

サービスは、支援者の判断でなく患者の好み、選択に基づく。

☆その会社に合う

人材について事業主と話し合う

⑤ 現金給付に関する個別相談

一人ひとりの状況に応じた現金給付(生活保護、年金、その他手当)の現状や見込みについて、就労支援担当者は正確かつわかりやすく情報提供する。

⑥ 迅速な職探し

就労前のアセスメント、訓練、カウンセリングを長期に渡り提供するのではなく、迅速な職探しという方針を採用し、患者が仕事に就くことをダイレクトに支援する

⑦ システムチックな職場開拓

事業主とのネットワークを構築し定期的に接触する機会をもち地域の雇用主との関係をつくる。

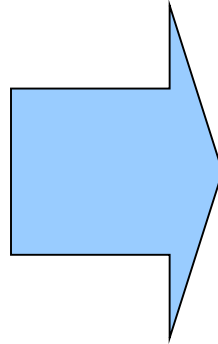
⑧ 継続的かつ一人ひとりに提供される支援

継続支援は患者が求める限り個別的行い、継続する。

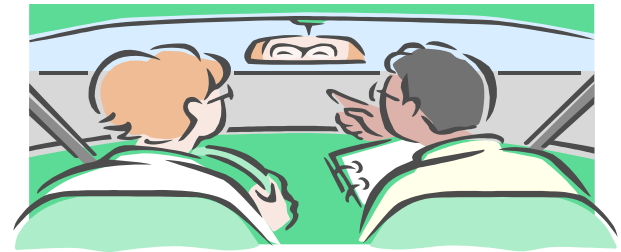
就労支援の新しい考え方

Individual Placement And Support の略語です
個別就労支援プログラム

従来型の支援



リカバリーへの道 IPS



- 働くことを希望しつつも、時期尚早と判断された多くの方々の要望
- 就労支援を開始し、有効性のあるIPSへ転換

就労支援の新しい考え方

Individual Placement And Support の略語です
個別就労支援プログラム

桜ヶ丘記念病院 就労支援プログラムの特色

- ①短時間・短期間からでも一般就労を目指します
- ②働きたい方が参加できます
- ③多職種チーム、関係機関と協働してサポートします
- ④長所や興味に着目して支援します
- ⑤個別の経済的な相談を提供します
- ⑥迅速に職探しを始めます
- ⑦企業との関係を大切にしながら職場開拓します
- ⑧就職後も継続的にサポートします



リカバリー経験者から抽出したストレングスモデルの
実践としてのIPS

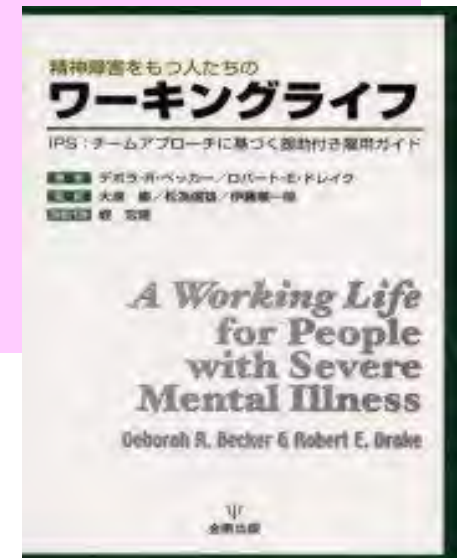
電子カルテでの共有内容

IPSキャリアプロフィール

- ▶ 夢、大切にしている事
- ▶ 職業上の目標
- ▶ 学歴
- ▶ 資格
- ▶ 就労歴
(プラスの体験・退職理由)
- ▶ 症状への対処
- ▶ 薬の管理
- ▶ 薬の副作用
- ▶ 身体 of 健康
- ▶ 対人関係技能



- ▶ 求職活動上の技能
- ▶ 能力・適正
- ▶ 興味
- ▶ 労働習慣
- ▶ 生活環境
- ▶ 精神疾患の開示
- ▶ 金銭管理
- ▶ 経済状況
- ▶ 日常生活
- ▶ 家族の職歴



ジョブマッチング（興味・長所・発想の転換）

	個性	職探し
興味	歴史に興味がある	遺跡の発掘
	政治に興味がある	議員秘書の付き人
	絵に興味がある	ギャラリーでの事務補助
長所	ビジネスマナーが得意	会社のメール室
	英語が得意	翻訳家
	柔らかく優しい性格	介護
	手先が器用	製造
	礼儀正しい	芸能プロダクション
資格	Webデザイナー	ホームページ制作
	自動車整備士	配送業務
	日本語教師	日本語学校非常勤講師
発想の転換	対人関係が苦手	コンピューター, 単独清掃作業
	交通機関が苦手	在宅勤務
	暑さ寒さに強い	屋外での作業

NEW

就労支援ユニットミーティングについて






■内容

- ・就労支援の動向・新着求人について
- ・上手くいったケースについて
- ・ジョブマッチングの仕事のアイデアについて
- ・4ヶ月以上仕事を探しているケース



精神科医療機関とハローワークによる
就労支援モデル事業の一環で実施している

カスタマイズ就労の方法

 <p>ジョブカービング Job carving</p> <p>既存の職務内容に変更を加えて仕事を構成する。新しい職務内容には当初の職務のうち1つ以上が含まれるが、すべて同じではない。</p>	 <p>職務創出 Job creation</p> <p>職場で満たされていないニーズをもとに交渉され、新たな仕事が創出される。</p>
 <p>職務再構成 Negotiating a job description</p> <p>職場で行われているすべての職務から対応可能なものを抜き出し、職務内容を個別に再構成する。</p>	 <p>ジョブシェアリング Job sharing</p> <p>2～3人が職務をシェア。お互いのストレングスをベースに仕事に責任を持つ。</p>
 <p>起業</p> <p>上のほかに自営、起業という働き方もカスタマイズ就労に含まれる。 (p15 参照)</p>	

精神障害者が働くために必要な合理的配慮

	私が困難に感じたこと	配慮の内容
働き方・労働時間	残業すると睡眠時間が短くなり、体調を崩してしまう。	残業をなるべく少なくしてもらった。あっても月3時間くらい。フレックスでその分早く帰れる。
通院・医療	勤務日と通院日が重なってしまう	通院日の確保
病気、障害への理解	薬を服用しているため副作用の口渇	ペットボトルの常備とトイレの離席の必要性の理解
休憩	情報の多い所へ行くと(特に音や声)つかれやすい	静かな所に行き、ひと息つく
認知機能	いっぺんにたくさんのことを言われると覚えきれずパニックになってしまう	1つの仕事が終わってから次の指示をしてほしい。
コミュニケーション	初めての場所や初めて会う人が苦手	一人で外に出るような仕事はしばらく免除
サポーター	自分の仕事に自信がもてず、孤独感や不安が強くなってしまふ	フィードバックする。 担当の人と話す時間を作る
健常者と同じように接する	障害者という事で職員との距離感を感じる	職員と同じく接してもらいたい

障害のある人が企業の戦力となるために

①事業主のニーズと求職者のマッチング

<事業主>

- ・御社で自慢できることは何ですか？会社の特徴は？採用手続きについて？
- ・忙しい時間帯？非効率的な業務は？

<求職者>

- ・夢や目標、興味、好み、経験は？仕事のモチベーションは？必要な配慮は？
- ・上手くいくための必要なサポートは？

②就労支援機関のプログラム評価の制度化

IPSフィデリティ尺度の導入

6か月毎にプログラムを見直し良かった点、改善点を評価していく仕組み

- ・就労支援担当者は業務のうち65%以上地域で活動しているか
- ・個別化された就職活動を援助しているか、キャリアプロフィールを作成し更新しているか
- ・精神医療チームとミーティングを毎週開催しているか、記録を共有しているか
- ・就労ユニットミーティングで求人情報の共有をしているか
- ・毎週少なくとも6名の雇用主と会っているか

障害があると長所が隠れてしまうことがあります



隠れてしまっている覆いを本人と一緒に払って、
本来の可能性を活かすチャンスを作ること

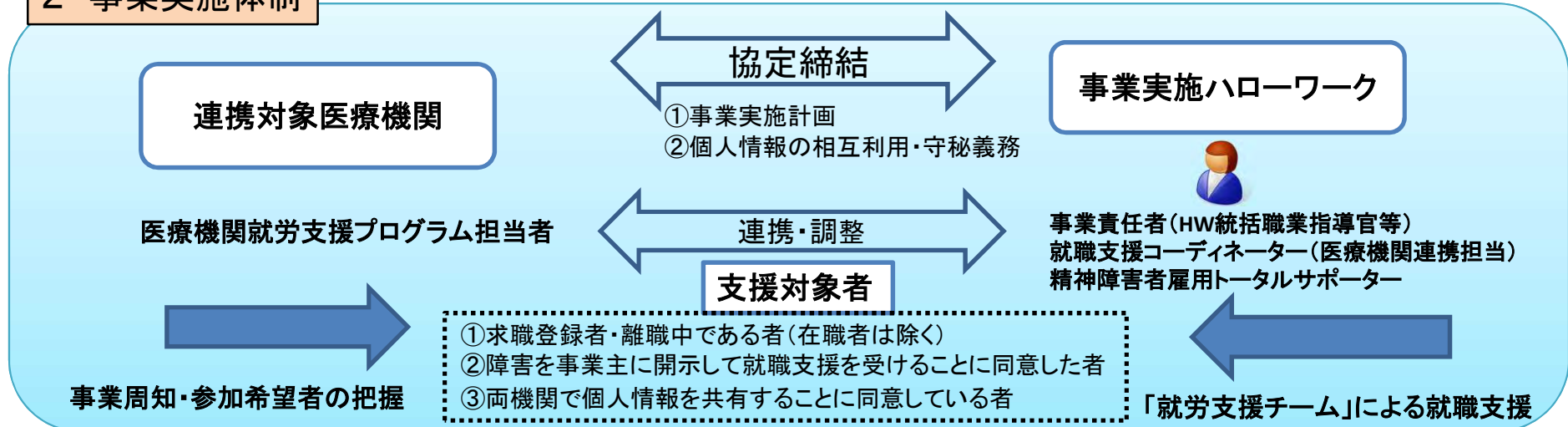


精神科医療機関とハローワークの連携モデル事業の実施について

1 目的

精神障害者の更なる雇用の推進のため、ハローワークにおいて、就労支援プログラム等を実施する医療機関と連携したモデル事業を実施し、当該医療機関との信頼関係を構築するとともに、地域の他の医療機関に対してもハローワークでの取組状況について普及・啓発を図り、医療機関との連携を推進することとする。

2 事業実施体制



3 事業内容等

- 主治医等として医療機関の関与は継続。就労支援の観点から支援対象者を医療機関からハローワークに引き継ぐ。
- 支援方法については、「チーム支援事業」を活用し、支援期間は原則6ヶ月以内とする。
- 想定される支援内容は次のとおり。
 - ①連携対象医療機関を利用している精神障害者に対して就職に関する知識や技術を付与するためのジョブガイダンスの実施
 - ②職業相談・紹介、キャリアコンサルティング、職業訓練あっせん等の就労支援サービス
 - ③職場実習等の機会の積極的な提供
 - ④3ヶ月目と支援期間終了時に医療機関側の担当者を含めたケース会議の開催
 - ⑤職場定着支援等のフォローアップ支援の実施

4 実施労働局

平成30年度47労働局

28年度実施局(22局):北海道、青森、宮城、栃木、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、長野、岐阜、静岡、愛知、京都、大阪、兵庫、岡山、広島、福岡、長崎、熊本、鹿児島
29年度実施局(16局):岩手、秋田、山形、福島、群馬、奈良、和歌山、鳥根、香川、佐賀、宮崎
30年度実施局(9局):富山、石川、福井、滋賀、鳥取、山口、愛媛、高知、沖縄